

平成 18 年度 第 10 回規制改革・民間開放推進会議 議事録

(※本議事録は、議事概要を兼ねるものである。)

1. 日時:平成 18 年 12 月 25 日(月) 15:45～15:55

2. 場所:永田町合同庁舎 1 階第 1 共用会議室

3. 出席者

(委員) 草刈隆郎議長、鈴木良男議長代理、黒川和美、志太勤、中条潮、南場智子、八田達夫、原早苗、本田桂子、矢崎裕彦各委員、安念潤司、大橋豊彦、福井秀夫各専門委員
(政府) 佐田大臣、林副大臣

(事務局) 河内閣審議官、田中規制改革・民間開放推進室長、井上参事官、黒岩参事官、岩佐企画官、岩村企画官、萬谷企画官

4. 議事次第

(1) 答申案文決定について

(2) その他

5. 議事録

○草刈議長 それでは、定刻になりましたので、平成 18 年度第 10 回「規制改革・民間開放推進会議」を開会いたします。

本日は、お忙しい中、佐田大臣、林副大臣に御出席をいただいております。また、本田さんが遅れておりますが、13 名の委員と専門委員にも御出席をいただいております。

早速でございますけれども、本日の議題であります最終答申の審議に入りたいと思います。お手元にお配りしております最終答申の案文をごらんいただきたいと思います。これは、前回の会議以降、各担当委員を中心に関係省庁との協議・調整を経てとりまとめられたものでございます。委員の皆様には、事前に御確認をいただいているということでございます。

本日は、本案を正式な答申として会議として決定をしたいと存じますが、皆様、何か御異議はございませんでしょうか。よろしゅうございますか。

(「異議なし」と声あり)

○草刈議長 それでは、本案のとおり、答申を決定させていただきます。

それでは、ここで佐田大臣からお言葉をいただければと思いますので、大臣、よろしく願いいたします。

○佐田大臣 ただいま、草刈議長を始め委員の皆様の御努力のたまものである「規制改革・民間開放推進に関する第 3 次答申」をとりまとめでいただきました。皆様のこれまでの御苦勞に深く感謝申し上げる次第でございます。

当会議におかれましては、平成 16 年 4 月の発足以来、約 3 年にわたりまして、官製市場を始めとする諸改革について、貴重な御提言をいただいております。政府におきまし

ては、これらの御提言を政府の3か年計画に盛り込み、そのうち570項目につきましては昨年度末までに実行してまいりました。

本日の答申につきましても、その内容が実現するよう担当大臣として全力で頑張りたい。かように思っております。

最後に、委員の皆様方に改めて御礼を申し上げて、ごあいさつに代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

○草刈議長 大臣、どうもありがとうございました。佐田大臣におかれましては、この答申のとりまとめについて格段の御尽力を、とりわけ最後の段階でお願いをしたわけでございます。会議を代表して御礼を申し上げます。また、林副大臣におかれましても、もろもろの御支援をいただいております。心から御礼を申し上げたいと思います。

当会議といたしましては、本答申の内容が確実に実現されることを強く期待をしておりますので、引き続き、大臣、副大臣、よろしく願いをいたしたいと思います。それと同時に、答申のとりまとめに当たっていただきました委員の皆様方の御努力に対しまして、改めて心より御礼を申し上げます。

(報道関係者退室)

○草刈議長 お手元に「規制改革・民間開放の推進に関する第3次答申の概要(案) —さらなる飛躍をめざして—」という資料がございます。これは答申の内容を簡単にまとめてもらったものですが、対外的な説明の際には是非御活用いただければと思っております。

そういうことで、極めて短時間で、これの答申のとりまとめという会議を開かせていただいたわけですが、今回の答申の決定に当たりまして、何か、今後のことも含めて御発言をいただける方がございましたら、どうぞ御発言をお願いします。どんなことでも結構ですから、多少お時間もありますので、お願いします。

よろしいですか。原さん、何かあったら、御遠慮なさらずにどうぞ。

○原委員 ありがとうございます。

大変長くも感じ、それから、短くも感じましたけれども、幅広い政策を勉強させていただきました。ありがとうございます。

私は、消費者の立場ということで参画をさせていただいていて、それぞれに関心のある分野でしたけれども、後継の組織にというところで是非お願いしたいと思っておりますのは、やはり国民とのコミュニケーションです。ここで議論していること、それから、こうやって出てくる案文は、逐一、大変丁寧に議論を積み重ねてきているもので、実現化を図っていただきたいと思うと同時に、国民に広く説明をし、それから、こういうものをつくっていく過程でのコミュニケーションというのがとても大事と思っておりますので、是非よろしくお願いしたいと思っております。

○草刈議長 ありがとうございます。ほかにそういったようなお話がございましたら、どうぞお願いします。

よろしいですか。

志太さん、何か御注文などがあればどうぞ。

○志太委員 注文も何もないんですけれども、いろんな案件を求めているときに、もう少しPRをしていただけるとやりやすかったということを今は感じております。ですから、次の方々のために是非PRをもう少ししていただく。

だから、末端の方がいろんな話をしても理解されていないことが多うございますので、是非、後の方がやりやすいためにPRをひとつよろしくお願ひしたいというように思います。

以上です。

○草刈議長 ほかに、どなたかいかがですか。

今日は余り時間がございませんので、また皆さんで、せつかく3年間御一緒させていただいたわけですから、もっとゆっくりと時間をかけてお話をする機会をつくりたいと思いますので、もし、そのときに御発言があれば、次の後継組織にお伝えするようにしたらいかがかと思っております。

もし、そういうことでよろしければ、そろそろ本日の会議を終わりたいと思いますが、本日、答申をとりまとめることができましたので、10月19日の第7回、11月13日の第8回、12月6日の第9回の会議の資料と議事録につきましては、これまでは非公開ということにしてあったわけですが、本日の答申決定に合わせてさかのぼって公表するということになりますので、御承知おきをお願いいたします。

また、この後、2階の第2共用会議室において、本日の会議の様様について記者会見を行い、その後、安倍総理のお時間をいただいておりますので、佐田大臣、林副大臣とともに私が会議を代表して答申を総理にお渡しするという段取りになっております。記者会見の方は、鈴木議長代理と私とでやらせていただくことにしたいと思っております。

そういうことでございまして、あと、最後に事務局から御連絡事項があれば、是非願ひします。

○井上参事官 本日いただきました答申の政府としての取扱いでございますけれども、明日の閣議におきまして、答申でお示しをいただきました具体的施策、これは数えますと216項目でございますけれども、これについて最大限尊重する旨の閣議決定の手続を取らせていただく予定でございます。

以上でございます。どうもありがとうございます。

○草刈議長 そういうことでございます。

大臣、副大臣、よろしいですか。

○佐田大臣 ちょっといいですか。

今、PRのお話等がありましたけれども、委員の皆様方、本当にこの3年間、大変御尽力をいただいております。今日の答申の内容につきましては、既に実行されているものもありますけれども、PRをすると同時に、先ほどありましたように、最大限尊重閣議ということで閣議決定ですから、これは本当に尊重して、法案にするものはしっかりと法

案にしていくということで、我々も頑張っていきたい。こういうふうに思っておりますので、御理解いただきたいと思います。

ありがとうございました。

○草刈議長 どうもありがとうございました。

それでは、本日の審議はこれにて終了したいと思います。無事、最終答申がとりまとめられましたのも、ひとえに皆様のお力によるものでございます。改めて心から御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。